

先行事業等の実施報告

1 合同教職員研修会

日時 2019年10月21日

場所 群馬医療福祉大学 本町キャンパス

講師 共愛学園前橋国際大学 大森昭生学長

「高等教育を取り巻く現状と課題」と題して、大森共愛学園前橋国際大学長による講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けた。その後の質疑応答では、活発に質問や意見交換が行われた。研修会後は希望者による懇親会を行い、親睦を深めることが出来た。

前橋6大学の教職員が参加する研修会は初実施と考えられ、その意義は大きく、参加者同士のネットワークが新たに形成されたことは重要な一歩となった。



2 合同進学相談会・セミナー

日時 2019年11月17日

場所 共愛学園前橋国際大学 4号館

各大学の進学相談ブース・パンフレット配布ブースに加え、明和学園短期大学 田口教授による「探求を楽しく学ぶ」と題した高校教員向けセミナーや、共愛学園前橋国際大 奥田教授による「探求による学びと高等教育」と題した高校生向けセミナーも同時開催した。また、明和学園短期大学の学生による手作りおもちゃの体験ブースも設置し、参加者の笑顔溢れる場となった。



3 文部科学省 中央教育審議会への参加

令和元年 11 月 12 日に開催した大学分科会にて取組について説明

4 文部科学白書 2018 への掲載

第1部 特集

Column No. 03

地域連携プラットフォームに関する取組例 「めぶく。プラットフォーム前橋」

前橋市の課題は人口減少であり、特に生産年齢人口（15歳～64歳）の変動が大きく、平成17（2005）年から平成27（2015）年までの10年間で約2万2千人が減少しています。

その大きな要因が、15歳～24歳の転出超過であり、進学や就職のタイミングで市内に定着しにくい状況となっています。また、定着の状況について他機関を含め具体的な数値を把握できていないことや、市内全ての大学が参加する形での産官学連携体制が図られておらず、それぞれのリソースを十分に共有・発揮できていないことも大きな課題と捉えていました。

そこで、平成30（2018）年9月25日、市内の国公立全6大学・前橋商工会議所・前橋市は、連携協定を締結し、産学官が知恵を出し合うための協議会「めぶく。プラットフォーム前橋」を設立して、地域人材の育成・定着の課題解決に向けた強固な連携体制を推進しています。

プラットフォーム形成によって、産業界、行政、教育界が共通して抱える複合的な地域課題（若者の地元進学・就職、事業承継等）の解決を行うことを目標としています。

（高等教育に係る目標の例）

- ・前橋市内大学の魅力向上と情報発信の強化を通じ、入学者市内占有率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。
- ・魅力溢れる市内産業との接触機会の創出等を通じ、市内就職率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。



産学官代表者らによる連携協定締結の様子



本プラットフォームに参加する産学官各団体のロゴ